

令和4年3月2日

神奈川県ホッケー協会令和3年第1回理事会議事録

1. 日 時：2021年2月16日（水）21:00～22:10

2. 会 場：Zoom 会議室

3. 出席者

当日出席：竹内副協会長、寺田理事長、齊藤常任理事、大塚常任理事、岡崎常任理事、中桐常任理事、伊藤理事（法政 FAHC）、渡辺理事（ブルーウィングス）、銘苅氏（森理事代理・横浜市大男子）、貝賀理事（横浜市大女子）、菅原理事（防衛大男子）、末木理事（慶應高校）、中里監事、木下常任理事（事務局・議事録）

委任状提出：土屋常任理事、薄川理事（防衛大女子）、三橋理事（法政二高）

4. 理事長挨拶

寺田理事長： 久々の理事会となりましたが、皆様お忙しい中、遅い時刻にお集まり頂きまして有難うございます。年度頭に協会活性化のための方針を示させて頂いたものの、会計や事務処理関係の正常化に追われ実質的な活動まで結び付けられなかった事が正直な所でした。ただ、その状況を皆様と共有していなかった事を反省しお詫びいたします。

この反省を元に改めて活動の活性化に挑みます。

本日はアレッサ横浜脱会の件、都市間交流戦開催の件など報告事項が主な議題ですが、この機会にまたご遠慮なくご意見提出、活発な議論が出来ればと思っておりますので宜しくお願い致します。

5. 議 事

出席人数の確認：・当日出席理事 13名

・委任状提出 3名

・監事 1名

理事計 16名 / 17名の出席となり、会則第14条4項の規定に基づき、全理事の2分の1（9名）以上の出席により有効に開催成立することが確認された

議長：牧島協会長が欠席のため、寺田理事長が選出された

(1) アレッサ横浜の脱会について

〈報告事項〉

・事務局より内容について報告があった後、以下の発言があった。

齊藤常任理事：本件については、決して県ホッケー協会との仲違いというわけでは

なく、将来的には復会する可能性もあり、一緒に活動していきたいと考えている。

寺田理事長：アレッサ横浜脱会後も4名の常任理事に留任頂く事については、協会活動方針の一つ「近隣協会との連携活動」に有効と考えての判断。実質的な活動につなげていきたいのでご理解願う。

(2) 都市間交流スポーツ大会（横浜開催）について 〈報告事項〉

・事務局より内容について報告があった後、以下の発言があった。

大塚常任理事：令和4年度横浜開催が中止となった場合に、無理に横浜で大会開催しなくて良いのではないかと思う。

齊藤常任理事：質の高い大会運営を行うからには、審判・ジャッジ手配など事前確認を含む準備をしっかりと行う必要があるかと思う。また、バス駐車場や更衣室（シャワー）、その他部屋等の施設利用はできるのか。

寺田理事長：施設利用の詳細についてはYC&ACへ小職から確認する。

木下常任理事兼審判長：当該大会にてD級審判昇級講習会を開催することで、県内競技役員育成につながる上、大会経費削減にもつながるため、開催したいと考えている。ジャッジ講習会を行う用意はあるか。また、開催の場合に必要なものはあるか。

竹内副協会長兼競技長：ジャッジ講習会開催には、講師の招聘が必要であり、調整次第となる。また、必要設備としては、座学講習会を開催できる部屋の確保は必要。

伊藤理事：大会について、女子種別はないのか。

寺田理事長：他種目ではあるが、ホッケー競技ではこれまでなかった。横浜市スポーツ協会へ開催の可能性を含めて確認する。

齊藤常任理事：大会開催経費については、県ホッケー協会からの持ち出しがあるのか。

事務局：横浜市ホッケー協会での負担を想定しており、県ホッケー協会からの持ち出しはないと考えている。

(3) その他報告事項 〈報告事項〉

- ・ア 事務処理報告について、現在は県スポーツ協会への補助金交付申請および報告処理を中心に行っていると報告があった。
- ・イ ホッケークリニックの開催について、2月23日(水祝)に藤本講師（マイホッケープラス）を招聘して15時より開催予定であり、サポート頂ける方は事務局

へ連絡をお願いするとの報告があった。

- ・ウ 全国ルール研修会について、2/11(土)に開催され、当会より竹内競技長および木下審判長が出席したとの報告があり、今後、県内への伝達会開催を企画するとの報告があった。

以上の報告の後、以下の発言があった。

中桐常任理事：国体選考に係るスケジュールの提示をしてもらいたい。

寺田理事長：承知した。監督選考等を含めて常任理事会で諮り、理事会へ共有する。

議長が閉会を宣言

以上